



大腸がん検診を受けましょう

大腸がんは近年発生率、死亡数とも増加傾向にあり死因の多くを占めています。一般に大腸がんは、早期であれば手術などによりほぼ完治する比較的治療しやすい病気ですが、初期には症状が乏しく、進行してしまうと人工肛門が必要になったり肝臓や肺に転移して治療が困難になることもあります。そのため地域や職場での定期検診が重要になります。

吹田市では40歳以上の市民を対象として問診と便潜血検査による大腸がん検診を実施いたしますので年に1回は受診してください。この検査は、症状のない段階で、がんの微量の出血の有無を便で調べる検査です。万が一、便潜血検査陽性となりましたら、専門医で大腸内視鏡検査を受けることとなります。下剤で腸内をきれいにし、肛門から内視鏡を挿入する検査です。医療技術の進歩で検査は飛躍的にスムーズに受けられるようになりました。さ

らに早期の大腸がんの多くは内視鏡治療で治るようになってきました。

また、がん以外にも大腸ポリープの発見・治療にもつながります。少し進行すると腹腔鏡下手術、さらに進行すると開腹手術と抗がん剤、病状や発生場所に応じて治療法が異なってきます。現在我が国では進行度により標準的な治療法(術式やお薬)が決められており、病院・施設間でのずれは全国的に少なくなり、患者さんにも理解しやすいように治療ガイドラインが作成されています。

吹田市では、特定年齢の方を対象に、大腸がん検診無料クーポン券を7月末に送付します。詳しくは、吹田市立保健センターにお問い合わせください。まず一度、誕生日などの機会にご自身の健康のために、躊躇せず大腸がん検診を受診してみたいかがでしょうか。

吹田市医師会 丸川 治